

教育目標: ○ゆたかな心で じょうぶな子 ◎自らよく考えて やりぬく子(重点目標) ○みんなで 協力しあえる子
 目指す学校像: 1心が響き合う学校 2学ぶ喜びがあふれる学校 3力がみなぎる学校 4互いに結ばれている学校
 目指す児童・生徒像: 1よく考え伸びようとする子 2心優しく支え合おうとする子 3すすんで心身をきたえようとする子
 目指す教師像: 1自らを高めるとともに、互いに高め合う教職員 2教育論をもち、児童の育ちを語る教職員 3確かな人権意識をもつ教職員 4経営参画意識をもつ教職員 5教育公務員としての自覚をもつ教職員 6学校・地域を愛せる教職員

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標	努力指標	成果指標	成果指標	分析コメント	改善策
				(中間)	(最終)	(中間)	(最終)		
豊かな人間性の育成	人権教育の充実 道徳教育の充実 生活指導の充実 体験的活動、表現や鑑賞活動の充実	全教育活動を通して、いじめ防止教育の充実に努め、命を大切にし、互いの人権を尊重し合う態度を育てる。	「いじめ防止基本方針」に則り、年間を通じていじめ防止教育を徹底し、いじめの兆候を見逃さず、一人ひとりの児童理解に基づいた指導の充実を図る。	3	4	4	4	いじめアンケートを実施して実態の把握を図った。また、保護者や児童からトラブル等の訴えがあったときには、担任だけでなく学年主任など他の教員を交え聞き取りし問題を解決した。	引き続き、いじめに関するアンケートを活用する。一人ひとりと信頼関係をしっかりと築き、児童理解に努める。また、学年で情報共有していく。道徳の授業を活用し、いじめが許されないことを適宜伝える。
		基本的な生活習慣の確立を図り、自分自身で自他の安全に配慮して行動しようとする態度を育てる。	「返事・あいさつ・後始末」を合言葉に、生活指導を徹底する。「四小生活スタンダード」を改善、指導の充実を図る。	3	4	4	4	毎日、教員が率先してあいさつを行った。毎日の呼名や、児童があいさつの大切さを自然と意識するように取り組んでいる。また、児童の良いあいさつを価値付けている。後始末は、児童に呼びかけたり、時間をつくり取り組ませたりした。	教員が見本となり、あいさつをする。月間の生活目標や「四小生活スタンダード」を活用し、学級活動や道徳の授業等で取り上げ、児童一人ひとりが気持ちよく過ごす良さを伝える。
確かな学力の定着	基礎的・基本的事項の徹底 授業の充実を図る ための授業改善 読書活動・プログラミング教育の推進	児童一人ひとりが「わかる、できる、つかえる」ことを実感できる授業の実践し、児童の自己肯定感を育てる。	授業のねらいと振り返りを全授業で行い、児童一人ひとりが「わかる、できる、つかえる」ことを実感できる授業の実践し、児童の自己肯定感を育てる。	4	4	4	4	授業のめあてを明確に示し、一人ひとりの毎時間の学習状況を的確に把握し、個別指導した。また、タブレットを活用して児童の理解状況を把握した。	一人ひとりの実態に応じた教材開発に努め、「できた。」を実感させていく。内容を理解できなかったに限らず、ICTを取り入れ、個別最適化を意識した学習を進めていく。
		自ら学び、自ら考える活動の日常化を図る。	学習活動においてICTを積極的・効果的に活用し、情報活用の基礎および実践力、ルールや科学的な理解を図る。また、朝読書や読書旬間を設け、読書活動の習慣化を図る。	4	4	3	3	ICT機器を積極的に活用し全員の考えを共有したり、授業で使う資料を配布して、一人ひとりが自分の考えをもてるようにした。また、朝読書など読書の時間を確保した。	ICTが必要か、授業内容や児童の実態に合わせてアナログとデジタルの取捨選択が必要である。また、著作権や情報モラルも引き続き指導する。読書については、読書活動を多く取り入れ、習慣化していく。
たくましい心身の育成	健康教育の積極的な推進 体育活動の日常の実践を推進 安全教育の推進	食育を計画的に実施し、食への関心を高める。	給食指導や会食会を通して、食や健康に興味をもち、よりよい生活を送ろうとする態度を育てる。	3	3	4	4	給食委員会の食育に関する取り組みや家庭科、国分寺学(野菜を育てる学習等)を活用しながら、食べることの大切さを伝えた。また、お楽しみ給食、和食会、普段の給食において食育やマナーなどの指導をした。	教員と栄養士の食育や家庭科、国分寺学等、栄養や食材について学習したことを、児童の普段の食事や給食にいかしていく。
		体育指導の充実	「遊ぶ、かかわる、高める」を合言葉に、自ら体力を高める児童の育成に取り組む。自他の安全に目を向け、自ら危機を回避し、行動できる資質や能力を育む。	3	3	3	4	クラス遊びを奨励し教師も一緒に遊んだ。縄跳び旬間中はもちろん、体育の準備運動等で長縄や短縄に取り組んだ。安全指導の中で、校庭の使い方や遊びのルールを確認した。	積極的に体を動かせるよう、休み時間の校庭遊びを奨励する。また、校庭の使い方や遊びのルールを指導し、事故防止に努める。
学校・家庭・地域の連携強化	特色ある教育活動の充実 家庭・地域との連携及び協働を推進	「四小国分寺学」として地域に親しみ、学び、貢献する授業を推進する。	「四小国分寺学」として、史跡等の地域環境や地域人材を活用した、地域に親しみ、地域に学び、地域に貢献する授業を推進する。	3	3	4	3	昨年度の経験をいかして、各学年・専科で「四小国分寺学」の計画・推進している。教員が国分寺の資料や地域人材に触れ、学習を工夫し進めることができた。	来年度の研究発表に向け、今年度の成果と課題から「四小国分寺学」を更にブラッシュアップし、国分寺への郷土愛や豊かな心の醸成を図る。
		家庭・地域と互いに手を携えた安全管理の徹底を図る。	義務教育9年間を見通した「四中ブロックスタンダード」を学校・保護者・地域で共有する。	3	3	3	3	四中との交流会を実施した。小中合同の研修等で生徒の様子や中学の特別活動の進捗状況などを共有した。「四中ブロックスタンダード」について、保護者会で保護者に説明した。	「四中ブロックスタンダード」について、年度初めに保護者に周知し、共通理解を図っていく。「四中ブロックスタンダード」の内容を確認し、系統的に指導をする。